



大崎市の最多避難所開設数・最多避難人数

※（）内は4月19日現在の避難所数と避難人数

大崎市全体	92カ所	11,082人	(2カ所)	37人
古川地域	41カ所	8,014人	(1カ所)	35人
松山地域	3カ所	350人	(0カ所)	0人
三本木地域	16カ所	1,458人	(0カ所)	0人
鹿島台地域	3カ所	363人	(0カ所)	0人
岩出山地域	3カ所	40人	(0カ所)	0人
鳴子温泉地域	6カ所	130人	(0カ所)	0人
田尻地域	20カ所	727人	(1カ所)	2人

避難所
体験したことのない大きな地震に不安を感じた人たちが避難所に身を寄せ、一時は一人を越える人たちが避難しました。道路や鉄道などの交通機関も通行止めや運行停止となったため、避難所には市外からの通勤者や観光客も避難しました。



①避難所で保健師が健康チェック②③避難所での生活④物資の配給

ボランティア

大崎市社会福祉協議会では、ボランティアセンターを設置し、被災者の生活支援にはボランティアの皆さんが大きな支えとなりました。また、ボランティアによるおおさき災害エフエム放送がいち早く立ち上がり、地域に密着した災害情報を提供してくれました。

⑨⑩多くの人に貴重な情報を与えてくれたおおさき災害エフエム放送⑪炊き出しで温かい食事を提供してくれた、婦人防火クラブの皆さん⑫市街地の民家の片付けなどを手伝った古川工業高校野球部の皆さん



生活

地震当初はガソリンや商品が不足し、市内各所で品薄状態が続き、電話もつながりにくい状態でした。また、生活に必要な水が断水で使えず、懸命な給水活動が行われました。

⑤商品を買って求めスーパーマーケットなどに並ぶ人たち⑥災害対策本部前に設置された衛星電話には長蛇の列が⑦断水時、貴重な飲料水を手に笑顔を見せる子ども（田尻地域）⑧災害ごみ置き場に集まったがれき（古川地域）